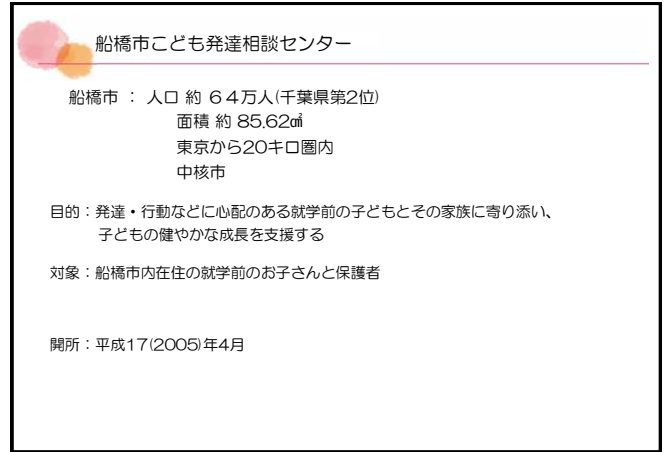
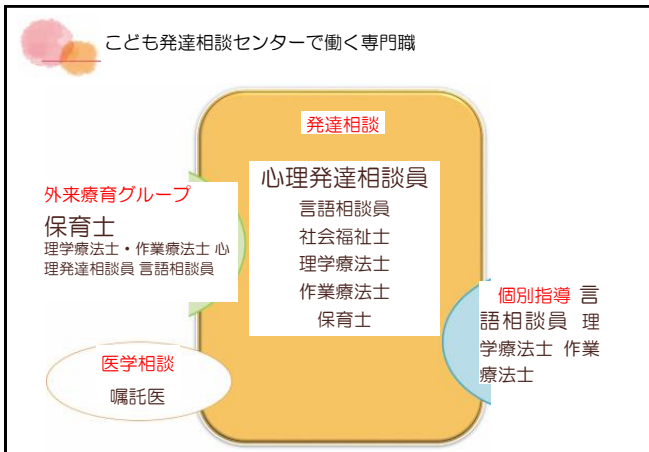




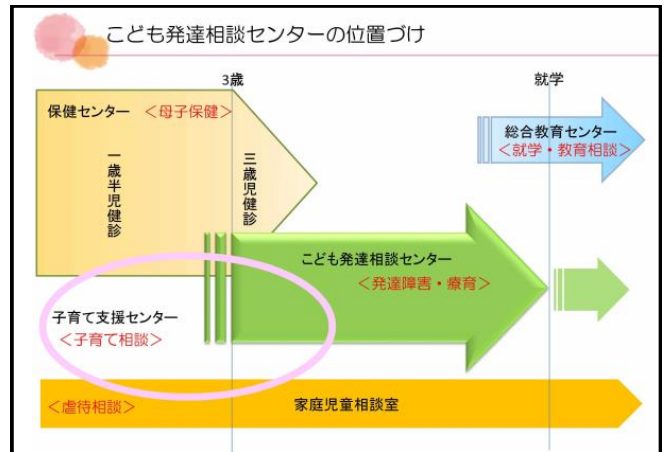
1



2



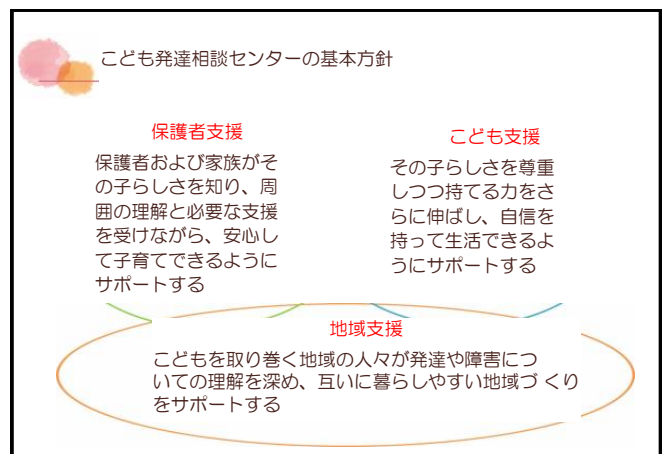
3



4



5



6

事例：三歳児健診で、保健センターから紹介されたAくん

受理面接

2歳児(3:7) 在宅(プレ幼稚園)

相談申込みのきっかけ: 三歳児健診で、保健師に相談し、紹介。

主訴: ことばが遅い、落ち着きがない

児: ロビーで走りまわる、ひとり遊びが多い

保護者: 一生懸命声かけ、表情硬い、子育てに疲弊

初
回相談

7

受理面接

保護者が持参した【発達の記録】に基づき聴取し、**ケースの全体像**を把握する

ケースの全体像 ① **生育歴から育ちのストーリーを知る**

〈生育歴の聴取ポイント〉

	1歳	2歳	3歳
歯のすわり	指さし	満2歳の保健師フォロー	
おすわり	はいはい	始階	
人見知り	歩き出してから	ことばの増え方(2語文)	3歳児健診 集団生活の様子
後追い	動作の真似	1歳半児健診	
離乳食	要求の伝え方		
始歩	簡単な指示理解		

あれ、うちの子・・・違和感/不安 発達が心配になったきっかけ

育ちのストーリー = 保護者の子育てのストーリー

8

受理面接

保護者が持参した【発達の記録】に基づき聴取し、**ケースの全体像**を把握する

ケースの全体像 ② **今のこどもの全体を捉える**

〈発達全体を捉えるとは・・・〉

家庭、集団、遊び、生活・・・わが子を知るきっかけになる
= **こどもの発達は全部つながっている**

9

事例Aくん：受理面接から初回相談へ

受理面接

生育歴: 一歳半児健診で、ことば(-)、指さし(-) 保健師がフォロー。
始語(2歳前)で、一旦安心。プレ幼稚園で部屋に入らず。
かんしゃくが多いが、抱きかかえて気分をさげるようにした。

現在の様子: 洋服の着脱など、自分でやろうとしないので、ほぼ介助。
食事は、好きなものは自分で食べる。偏食。
運動は遅れを感じないが、よく動き、物の扱いも雑。
初めの場所や場面の切り換えが苦手で、かんしゃくになりやすい。
発語は単語中心で、色や乗り物の名前を覚えた。
好きな遊びは、ぐるぐるチャイム、高いところからジャンプ。

初回相談

主訴の再確認⇒見立て(仮説)

今後の継続相談の方向性を保護者と確認
テーマ(目的)・頻度・見直しなど

10

初回相談～継続相談へ

- ・主訴の確認⇒真の主訴を探る
相談のきっかけは、保護者が支援とつながる力がみえる
- ・生育歴を確認⇒生まれてからの育ちのストーリーを描く
保護者の感情はつながっている
- ・現在のこどもの生活の確認⇒生活とそれに関わる保護者の姿勢、大事にしていることを知る
親子を取り巻く環境が見えてくる

11

継続相談

こどもを理解する
『その子らしさ』を知る

見立て・仮説

確認・共有

保護者が『その子らしさ』を理解し、対応を試す

『発達特性を意識しながら』
『保護者の言葉を活かしながら』

12

子どもを理解して、対応を考える視点(1)

発達検査・知能検査
 ・新版K式発達検査2020

・WISCIV	など
---------	----

- 発達の到達度や知的能力を評価する
- 児の得意・不得意を理解する
- 検査態度・対処パターンから理解する
 - ・指示を出す検査者にどの程度注目できるのか
 - ・成功したとき(褒められたとき)にどう反応するのか
 - ・困ったときにはどのように反応するのか

「どうやるの?」・「わかんない」・「やって」・「もうやる」
 身体の一部が動く・イライラする・かたまる・いなくなる・・・

13

子どもを理解して、対応を考える視点(2)

感覚統合理論 感覚は脳の栄養素 感覚統合は、脳の交通整理

感覚刺激の識別が難しい(オトコイちゃん)に求める (ビクビクちゃん)(モットちゃん)

感覚が非常に鈍感 器用さの問題をもつ 姿勢の問題を持つ (ノンビリちゃん)(チキナイちゃん)(グニヤグニヤちゃん)

子どもの感じ方、好きなこと、嫌いなこと、困っていること、助けてほしいことを理解する(推測する)のに役立つ

『てこぼこした発達のことどもたち』より

14

子どもを理解して、対応を考える視点(3)

応用行動分析理論(ABA)
 具体的な『行動』として表現する
 『行動』とは、“見える”“数えられる”
 ×「やる気がない」「ちゃんとしなない」「慣れていないから・・・」=曖昧
 <ABCモデル>

A:先行刺激
 「おもちゃ、箱に入れて」

➡

B:行動
 おもちゃを箱に入れた

➡

C:結果
 「お片付け上手」と褒められた

行動が増える

子どもの『行動』に注目する視点を共有しながら、有効な指示の出し方、褒め方、注意の仕方考える。

15

継続相談—子どもの理解をすすめる

- いま、目の前の子どもの姿を見る
- 子どもの気持ちを想像する
 その子が世界をどんなふうに見ているのか、
 どんなことを感じているのか
- 「問題」は、その子を取り巻く「状況」の中で起こる
 そこでは何が起こったのか、なぜそうなったのか
- 「未学習」と「誤学習」
 発達のために学び損なってしまうこと
 誤って学んでしまうこと

16

保護者支援—障害受容のプロセスから理解する

ドローターの障害受容の段階説

不安・悲しみ・絶望感 (I ショック)
 ドクターショッピング 取りまぶつながら 訓練に必死になる
 悲しみと怒り
 安定してくる (IV 適応)
 新しい生き方・希望 (V 再起)

「先天奇形を持つ子どもの誕生に対する正常な保護者の反応の経起を示す仮説的な図」Drotar,1975

17

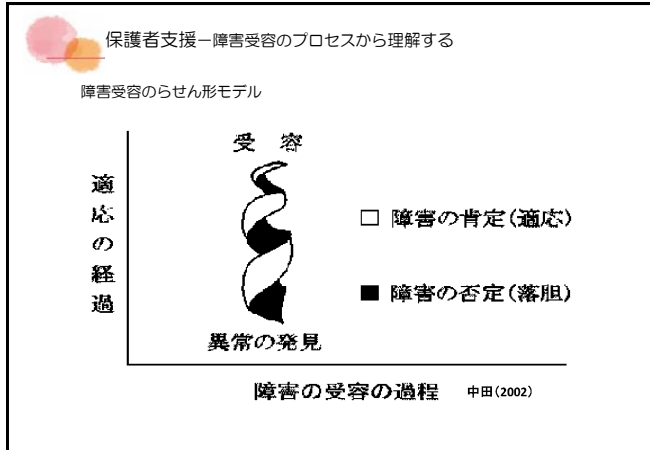
保護者支援—障害受容のプロセスから理解する

オーシャンスキーの慢性的悲哀説

時間経過

イメージ図

18



19

保護者の気持ちを理解する

○保護者の「これまでの歩み」と「これからの歩み」

これまでに経験した備つきや不安

「以前、愛情不足と言われたことがある。やはり、自分の育て方が悪かったのか…。」「すいぶん成長したと、やっと少し安心したのに、やっぱりためなのか…。」

これからを思っただけの不安や危機

「成長がゆっくりなことは分かっているけど、障害だったら他の子に追いつくことはないの?」「発達障害だったら、他の子と同じように保育園に通い続けたり、学校に行ったりできないのでは…? この子の将来はどうなるの?」

20

保護者の気持ちを理解する

○保護者のジレンマ

- ・発達障害は見えにくい
- ・親のせい?発達障害のせい?
- ・家族の中でのくいちがい
- ・正解が一つではない子育ての難しさ

21

就学前の発達相談で大切にしたいこと

- 「一緒に」のメッセージ
- 保護者も「できた」という体験から
- 『その子らしさ』の特徴と対応を伝えられるように

『種をまく』

22

参考文献

子育てと健康シリーズ17
子どもの障害をどう受容するか
中田洋二郎 著 大月書店 2002

でこぼこした発達の子どもたち
キャロル・ストック・クラノウィッツ 著 高松綾子 訳 すばる舎 2011

これからの保育シリーズ3
気になる子の本当の発達支援
市川奈緒子 著 風鳴舎 2016

発達が気になる幼児の親面接
支援者のためのガイドブック
井上雅彦・原口英之・石坂美和 著 金子書房 2019

23

ありがとうございました

船橋市こども発達相談センター
千葉県船橋市北本町1-16-55 保健福祉センター5階
047-424-7012

24